

地域のかで子どもを育む

eライブラリ学習教室 運営ガイド

子どもたちの基礎学力向上や学習習慣の育成に向けて、学校と地域が一体となり、放課後や土曜日、長期休業期間中に学習教室を開催する学校が増えています。
 学習支援スタッフ様向けに、eライブラリ学習教室の運営に関する情報をコンパクトにまとめました。

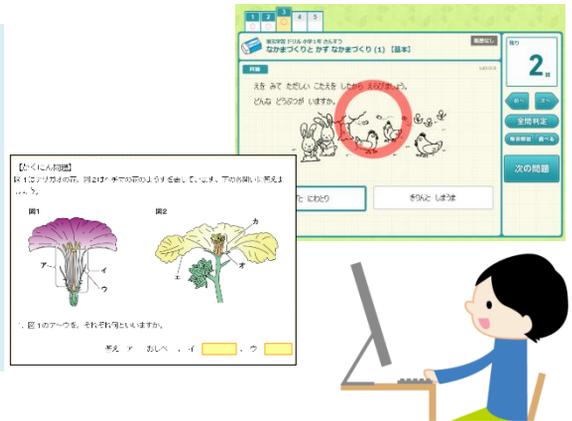
1 「ラインズeライブラリアドバンス」とは

- さまざまな学習の原動力となる「学びに向かう力」を育む、学習用ソフトです。
- 約57000問のドリル問題、プリント教材（単元別・入試問題）、解説教材、英会話教材などの多様な教材をインターネット経由でご利用いただけます。

※プリント教材は、オプションコンテンツのため、別途ご契約が必要となります

（ドリルの特長）

- 理解度に合わせてレベル分けされた問題が出題されるので、**個に合わせた学習が可能です**。小学校の問題に戻って学習することもできます。
- 間違えた問題の**リトライ機能**などを使って、自分のペースでくり返し学習ができます。
- **学習履歴**が残るので、間違えた問題のやり直しや、苦手の克服などにも役立ちます。



2 eライブラリ学習教室の魅力

■自分のペースで楽しく学習し、基礎・基本の定着

- 下の学年の復習や、先取り学習、確認テストなど、**自分に合った学習**ができます。
- 学習状況が**視覚的に分かる学習履歴**で苦手を把握。次への意欲をかきたてます。

■「学習記録ノート」との併用で、学び方を学べる

- 要点や計算式をしっかりと書くことで、学習効果向上が期待できます。
- **目標設定とふりかえり**の積み重ねが、**自ら学ぶ力**を育てます。



■運営スタッフの過度な負担がありません

- プリント準備や採点が要らず、**特別な準備は不要**です。
- 付き添う先生の人数が少なくても大丈夫。

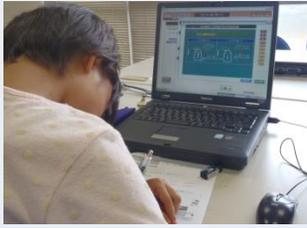
eライブラリが学習教室の運営をスムーズに！支援者とのコミュニケーションのきっかけにも。

さらに、**学習ボランティア**として**地域の方々の協力を得ることで、**

- ◆ つまずきへの対応など、**きめ細やかな学習支援**が可能になります。
- ◆ 異世代との関わり合いが、より**豊かな学びの機会**を創出します。

45分間の学習教室の進行例です。教科（算数・国語）と時間を決めて実施します。

	内容	時間	進行	備考
	開始前の準備		①パソコンの電源を入れておく ②学習記録ノート（+IDカード）を配布する	
1	はじめのあいさつ ・当番が号令をかけ、あいさつをして始める		●こんにちは。学習教室をはじめます。お当番さん、はじめのあいさつをお願いします。	
2	目標設定 ・今日の目標を決めて、学習記録ノートに記入する 	3分	●学習記録ノートに今日の日付を書きましょう。次に今日の目標を考えます。 ●どんなことでもよいですが、「算数の計算をがんばる」「苦手をがんばる」「集中する」というように、具体的な目標を決められたらすてきてくださいね。 ●これからドリルをやりますが、1つ教材が終わるごとに「今日のきろく」の○印に色を塗っていきましょう。	
3	eライブラリの起動とログイン 	2分	●eライブラリを開きます。 ●鉛筆と水色の丸い輪が重なっているマークをダブルクリックします。 ●【ログイン】ボタンから、自分のIDとパスワードを入れて、自分のページを開きます。 ●画面に自分の名前が出ているか、確認しましょう。	*学習記録が残る「りれきドリル」の利用がおすすめです。 *早くログインできた子どもが、低学年など他の子を手伝ってもよい。
4	ドリル学習（1）算数 	20分	●はじめの20分間は算数の時間です。自分のペースでじっくり進めましょう。 ●計算問題は、自分でノートに書いてきちんと計算すると、力がつきますよ。 ●採点して得点画面までいったら、記録ノートの○印を塗っていきましょう。	*学習中は子どもたちを個別にフォロー。 *【ヒント】や【調べる】の利用も適宜案内する。 *終了時間の5分前に声をかける。

	内容	時間	進行	備考
	ちょっと休憩 ～ストレッチタイム～ 	3分	●目も疲れたと思いますので、後半に入る前に、ちょっとだけ休憩しましょう。 ・肩回し ・手をぶらぶら ・手をあげて伸び ・首を前後に	*リフレッシュ体操で気分転換し、次への集中を高めます。
5	ドリル学習(2) 国語 	10分	●ここから10分間は国語の時間です。皆さんとても集中できていて素晴らしいので、このペースでがんばりましょう。 ● <u>間違えた問題や漢字は、ノートに書いて覚えていきましょう。</u>	
6	ふりかえり ・学習記録ノートに、ふりかえりを記入する。 ・最後に、学習した教材(記録)の数だけ表紙のスカイツリー等のマス目に色を塗る。 	5分	●今日の学習のふりかえりをしましょう。 ● <u>学習が終わって、今どんな気持ちですか? 「今の気分」のところに印をつけてみましょう。</u> ●次に「今日のふりかえり」のところに、今日の学習がどうだったか、自分の言葉で書いてみましょう。 <u>難しかったことや自分の苦手を発見できた人はすごいですよ。</u> ●ふりかえりが書けた人は、記録の数だけ、スカイツリーに色を塗りましょう。	*eライブラリの画面上で学習履歴の確認をしてもよい。 
7	おわりのあいさつ		●お当番さん、おわりのあいさつをお願いします。	*PCの電源オフ、学習記録ノートを提出して帰るよう指示
	終了後にすること 		①学習記録ノートの記載内容を確認し、「先生のサイン」欄にサインやコメントを記入する。 ②忘れ物、PC電源オフの確認	 ハンコも嬉しい!

プラス・ワンポイント 子どもへの声かけ、学習環境づくり

- ◆「間違えても大丈夫」と思える、安心安全な学習環境を作りましょう。
- ◆「苦手なところが見つかったら次へのチャンス。×を○にできるようにがんばろう!」という声かけを。
- ◆子ども達はどんどん進められる解きやすいところを学習しがちなので、状況に応じて「苦手とじっくり向き合う時間」を作るのもおすすめです。

+を見つけて○にしよう



Q1：子どもがパスワードを忘れてしまい、ログインできません。

A1：先生メニューで児童生徒のアカウント情報の確認や変更ができます。
先生トップ→大切な設定→児童(生徒)のアカウント→児童(生徒)アカウント一覧
→学年・学級を選択してください。

**Q2：自学習におすすめの、ドリル以外の教材はありますか？**

A2：ライブラリの中に収録されている「**いろいろカード帳**」は子どもたちにも人気があります。
学習時の気分転換として時間を決めて取り組んだり、友だち同士で問題の出し合いをするのも、
楽しく定着が図れておすすめです。

<おすすめのカード帳>

- ・社会) 都道府県名
- ・社会) 地図記号
- ・社会) 各国の名前
- ・社会) 国民の祝日
- ・国語) ローマ字
- ・国語) 熟字訓
- ・算数) 小2：たし算①、②
- ・算数) 小2：ひき算①、②
- ・算数) 小3：かけ算①、②
- ・算数) 小3：わり算①、②、③



「18ひく2はなーんだ？」
友達と仲良く問題の出し合いっこ

Q3：学習教室での利用に効果的な eライブラリの機能を教えてください。

A3：個に応じた学習教材を指定できる「**課題の設定**<先生メニュー>」、単元単位で理解度をテストし、弱点部分に絞ってドリルで復習ができる「**単元テスト**<児童生徒メニュー>」、子どもたちの学習状況やつまずき等、学習履歴の確認ができる「**成績管理**<先生メニュー>」といった機能が役に立てると思います。ぜひご利用ください。

※詳しい使い方は「ワンポイントレッスン」をご覧ください

Q4：自分で計算をせずに答えを選んでしまう子どもへの対応は？

A4：隣に座って一緒に取り組み、「考えてから選択→○正解！」の達成感を一緒に味わい、「やり方」を体得してもらいましょう。
学習指導の有無に関わらず、大人が子どもの隣に座って学習を見守り、励ますことで、子どもたちに安心感が生まれます。

**Q5：学習教室の運用にあたってのポイントや注意点は？**

A5：「**学習記録ノート**」を併用して学習の足あとを残していくことで、自律的に学ぶ力の育成が期待できます。初めてeライブラリを使う時は、記録ノートを使わずに、下の学年の問題（シンプルな計算問題、漢字など）で操作を覚え、自信をつける機会にするとよいでしょう。

また、**時間を区切って教科を指定**することで、集中して取り組みやすくなります。慣れてきたら、「今日は苦手な教科にチャレンジしよう」「得意を伸ばそう」など、その日によってテーマを決めるのもおすすめです。

参加人数が多い時には、2つのグループに分けて、**前半・後半でプリントとPCを使った学習を入れ替えて実施**することもできます。

